

言葉のプレゼント」1年（望ましい人間関係の育成）

1. 題材について

一年生らしい、やる気いっぱい、素直な子どもたちであるが、コミュニケーション能力や自他の理解、状況を判断する力など育っていないため、些細なトラブルが起こる。

アンケートの結果、クラスでの活動を楽しんでいる子が多いことが分かったが、自分のクラスでの「居場所」を確かなものにできていない子がまだまだ多い時期なのではないかと考える。

そこで、「言葉のプレゼント」で友だちのよいところを見つけて知らせたり、自分のよいところを伝えてもらったりする活動を通して、互いに認め合う気持ちを高め、「居場所」を感じ取るきっかけになればと考えている。

2. 活動の実際

(1) 事前の活動

「楽しい学校生活を送るためのアンケート(Q-U)」を行う。

「言葉のプレゼント」を書き、用意する。

(2) 本時の活動

ねらい 友だちのことをもっとよく知り、豊かな人間関係を育もうという意識をもつ。
友だちのよさを見つけ言葉をプレゼントすることで仲間のよさに気づく。

展開

	児童の活動	評価()と支援()	資料
導 入	1. 友だちのよさを見つけ、より仲良く楽しいクラスにするための活動を知ることを知る。	“友だちの悪いところを見つけ注意できる人”“よいところを見つけ伝えられる人”について考え、より仲良く楽しいクラスにするために、よいことを伝えることの大切さを知らせる。 活動に興味・関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。(活動への関心・意欲、問題の気付き)	
展 開	2. 「みんなで輪くぐり」をして、協力し一体感を感じる活動をする。 3. 「みんなで輪くぐり」をして気付いたことや感じたことを発表する。 4. 「みんなで輪くぐり」の活動から、「言葉のプレゼント」をしたい友だちがいたらカードを書く。 5. 用意しておいた「言葉のプレゼント」を交換し、台紙に貼る。 6. 「言葉のプレゼント」をした感想を交流する。	ルールと約束を説明する。 ルールや約束を守り、楽しく活動している。 (自主的・実践的な活動・態度) 友だちの工夫していた点やうまくできたことなどに着目するよう伝える。 「みんなで輪くぐり」をして、新たに気付いた友だちのよさについてカードに書く時間をとる。 短時間なので、書きたい子のみでよいことを伝える。 台紙に貼れないように説明する。 もらった感想や渡した気持ちを交流できるようにする。 よい所を伝えたり、伝えてもらったりするとお互いにより気持ちになり仲良くなれることに気付く。 (集団の一員としての思考・判断)	フラフープ 6つ (大小3つずつ) ストップウォッチ 言葉のプレゼント ・書き込みカード(記入済) ・台紙
終 末	7. 自分がもっといろいろな友だちと仲良くなったり、クラスを楽しくしたりするためにしたいことを発表する。	日常の活動として行えることを取り入れることを伝える。	

(3) 事後の活動 「言葉のプレゼント」を帰りの会などで継続して行う。